



砲、艦齡問題と協定困難を極むるもの多數、一問題に就て本國に引き揚げ會議を遅延せしめた英國、假令其の引き揚げを以て米國を反省する爲と言つても、吾人世界各國と共に之を信ぜず、三思せよ英國。

▽ △
 我的最初の提案三十萬噸説を捨て、

二萬五千噸の増求を策したのも亦、英

と同一の譏を受く、三十萬噸、夫れが

私の最低限度の要求なら之を基礎とし

て、英米に四十五萬噸を與ふのが至

當、我國も亦軍擴に賛成したものと評

すべく、可惜。

英國の陰謀、華府協定脱限の野心を

放棄するに非ずんば、會議が停頓する

のは當然、議決事項は小型巡洋艦、備

三國軍縮會議、この行き詰りの状態、

素と三國が軍縮に關する根本精神に於

て國際信義を缺くに因る、英國の巡洋

艦六十萬噸保有に關する提案の如き、

夫れを如實に物語るもの、日米之に反

對したのは當然事。

日英假協定案、非公式の協定として

も、英米五十萬噸を認容する代りに、

想起す、國際法は耶蘇教國だけに適

用すべきものと言つた學者があつた筈

今耶蘇教の二大國、我が正義の主張に

聽かずして軍備の擴張を策す、人類闘

争の本能を除くに非ずんば、遂に此種

會議は效無きに非ざるかを疑はしむ、

併し夫れならば人類は野獸に等し、再

言す、誠意を以て停頓状態に在る會議

を還元することを。

▽ △

隣邦支那の内亂、戰爭半ばに妥協し、妥協半ばに開戦するのが常態、之を繰返す何回にして革命成就するやを疑はしむ、いま亦、南京軍山東の張宗昌と停戦を協定し、北京政府之を諾すと、之に依つて南北の關係に變化を來さむとす、今後の形勢固より知るべからざるも、暫定的に三民主義が高調されむ。

我が出兵亦立往生、内には前年度繰越金を消費し、歳入缺陷を生じて、従來聲明した政策の實現までを躊躇せむとすると、速に徵兵して排日の暴舉を抑制すること極めて切。

▽ △

政友會内、田中總裁追出し運動を試

る者ありと傳ふ、就任以來起つた不平組の陰謀とは言へ、養子の悲さ、藏相の取替に依つて醸した不平を鎮撫するを得不得、山東出兵の手違、特殊銀行の勝相撲、等々と不手際續出、聊か總裁——首相としての權威を疑はしむ、併しながら是等を忍ぶべきは、卿等が養子に迎へたことに因つて分擔すべき義務、今更排斥でもあるまい、が、閣内黨内の紛糾は遂に内閣瓦解を誘致するに至るは當然、慎むが可い。

此状態を袖手傍觀してゐるのは民政黨、出兵が自己の高調した政策に反しても、口を緘して批評攻撃もせず、何等の聲明すら行はざるは、在野唯一の政黨として、其の不甲斐なきを惜む、今は政府の夫れに共鳴するに在るか、

夫れとも舊本黨系に禍されて、穩健着實を裝ふに在るか、吾人之を解する不能、二大政黨樹立の効果を疑ふ、若し此儘に推移せば府縣會議員選舉の結果は知るべきのみ、民政黨にも相當闘士があつた筈、自衛の爲に活躍せよ民政黨。

▽ △

現内閣に依つて高調された積極政策、愈豫算編制時期に迫つて成否不確立の状態に陥る、始より判りきつたこと、蓋し政治の革新を行はずして徒に積極政策を高調しても、結局無い袖は振れぬの一言に歸着す、三土藏相、豫算閣議の延期を求め、財政難を訴へて

積極政策實現の緩和乃至拋棄を求むと當然のこと。

地租委讓問題にしても、委讓に依る國庫財源の不足を何に求むるか、財務當局は之を地方團體に對する國庫支出金の廢止減額に眼を附けた、蓋し一の妙案、吾人年來の主張たる小學校教員俸給費分擔金其の他の補助金を廢止して、歳入缺陷を補充するのも亦妙、併し與黨政友會の主張するところは、一を下附して一を除ける聲明では無かつた筈、差引ゼロと爲つては地方財政の緩和とは爲らぬ、國民は之を希望したのでは無い、茲に在野當時主張した無責任な空想的政策の實現が不可能なる所以。

財政難のとき積極政策の實現を策す

る爲に、豫算二割の天引論を主張する者あり、豫算の天引、是程財政家の無能を表白する手段は無い、加藤友内閣時代の一般整理、山本震災内閣の實行上の節減、加藤三派内閣の糊塗的整理、何れも天引主義を採用した、其の祟りは當然舉げ得べき國民的利益も獲得する能はざる現狀を招來してゐる、之を矯正し國民經濟力を増進せしむるのが現内閣の責任、否な使命、天引以て數字の辻褄を合さむとするのは刀吏の仕業か、夫れとも無責任政治家の常套手段、吾人斷じて之を不許、節減すべきは節約し支出すべきは増額するのが眞の政治家の手腕、三土藏相、夢、一般

豫算天引論に耳を藉す勿れ。

積極政策の實行固より可、殊に地方

産業進展の爲にする産業道路の助勢、吾人双手を舉げて之を歓迎す、之が爲には公債を増發するも亦可、前内閣の企圖した剩餘金定率減債制度を停止するとも吾人之を咎めず、永久に亘つて國民經濟力を増進せしむる事業に對する投資ならば、起債に依つて之を行へ徒に起債を恐るゝ民間財政通の聲に聽くの愚を學ぶ勿れ、夫れが政友會の採るべき正當手段。

▽ △

政友會の積極政策の具體化、今のところ觀るべき何物も無い、行政審議會、稅制調査會、商工審議會等が何物を齎すかは未知數、之に餘り多くを期待す

るのは期待する者の誤であるかも知らぬ、蓋し國民生活の實際に双眼を有せざる者の會合なるが故である、果たせる哉、知事公選論を骨抜きにした州廳案なる愚策が出た、知事の公選、今更之を撤回して不明を天下に謝するの勇氣無く、官治行治を持つて行く所に窮した劣策、法の形式に捉はるゝ要は無

い、官治行治も公選知事に執行せしむるの大改革を策せざりしかを疑ふ、之を策せず官廳事務能率の増進なんて、古い事を言つてゐる此程度が何々會の審議振り、吾人の之に期待せざる所以、

知事公選の決定、府縣會議員の選舉後まで自重して留保、此愚案なら留保するのが政友會の爲に妙策、しかし公選は暫く措くも行政整理の具體化を望

む、府縣の合併、特殊地方官廳の地方長官集中、是だけでも來るべき議會へ提案を必要とす、若し之も爲す能はずとは、民政黨をして政府の無策を攻撃せしむるに至るべし、今から覺悟するのが肝要。

政府の調査會よりは、與黨の政務調査會の方が遙に進んでゐる、鐵道遞信文部司法の四省の廢止、交通省の新設、出來れば之に越したことは無い、セメテ交通省の新設だけでも實現せしむるのが行政整理の眞髓、しかし是も言ふだけでは無効。



世に絶對的の信用を博してゐた、内

務省の直轄土木工事、其の内の一つ、信濃川大河南津の分水堰倒壊、地方民灌漑の爲と洪水の爲に憂慮す、吾は内務省直轄工事信用の爲に惜む、其の因、設計の不適當に在りしか、其の施工の不十分に在りしか、夫れとも維持管理の不注意に存せしか、後日の審査に俟つとするも、眞正な技術上の見地から之を審査して、當局技術官の責任を問ふべきは勿論であるが、此慘事に鑑みて、財務當局が常に維持管理に要する費用の豫算要求を削減する悪弊を矯正するを得ば、慘事も亦以て吾が意を慰むるに足らむ。

x x x